



長沼町指定天然記念物

横田陣屋御殿桜

指定年月日

昭和60年5月1日

所有者(管理者)

大岡 定

所在の場所

福島県岩瀬郡長沼町大字横田字

北之後111番地

概要

(1)樹種…エドヒガンのシダレ

(2)樹高…12メートル

(3)根周り…3・5メートル

(4)目通り幹周り…3・1メートル

(5)推定樹齢…300年

開花時期

4月上旬

サクラの特徴

江戸時代に横田の地を所領していた、溝口氏の邸宅内に植え

られていたため『御殿桜』と呼ばれ、館の主に寵愛された桜と伝えられています。

長沼町で一番早く咲く桜として知られており、赤味がかつた濃いピンク色の花が樹全体を覆う姿は圧巻です。

またこの桜は東の丘の上に位置する護真寺のサクラ(福島県指定天然記念物)の種がこぼれて生えた桜とも言われています。

①JR須賀川駅より長沼行き

(横田経由)バス40分/横田下車徒歩5分(福島交通)

②東北自動車道須賀川ICより国道118号線を会津方面へ15分



【エドヒガン/江戸彼岸】

彼岸とつくだけに3月下旬から4月上旬にかけて花が咲く、早咲きで知られています。

葉が出る前に花をつけるため、葉を園にかけてウバザクラ(姥桜)とも呼ばれており、長寿の桜としても知られています。

各地の天然記念物に指定されている桜の巨木や古木の多くがこのエドヒガンの仲間です。また、シダレザクラはこのエドヒガンの園芸種です。